

北港テクノポート線（仮称）

# 夢 洲 駅

---

基本デザイン

2022年 4月

# Contents

---

1. 基本コンセプト (夢洲駅から発信すること)	P2
2. コンセプトを実現する演出手法	P3-4
3. 空間デザインと演出デザインの方向性	
(1) 空間デザイン	P5-10
1) ホーム階	P6
2) コンコース階	P7
3) 改札前広場	P8
4) 大阪らしさ・夢洲らしさ	P9
5) トイレ整備の方向性	P10
(2) 演出デザイン	P11

参考：夢洲駅デザイン委員会 名簿・開催経過

## 1. 夢洲駅 から 発信すること

1

動きで魅せる  
生命の多様性

2

日本の技術と文化  
で紡ぐ未来

3

新しい移動のカタチ  
挑戦する夢洲

# 移 世界劇場

いきる  
- 動く = 移動の魅力を発信する駅 -

## 2. コンセプトを実現する 空間演出の手法

受け継がれてきた日本の伝統文化の要素を取り入れながら  
新たな技術・デザインを融合させ、  
これからの日本文化を展開する“移世界劇場”をつくる

1

おもてなしのこころ  
折形・折り紙



折り紙天井

世界に誇る運行ダイヤ  
を折り紙で発信



2

多様性を受け入れる  
世界を映す鏡



鏡面・ゆらぎ

多様な素材で  
多様な動きを映す



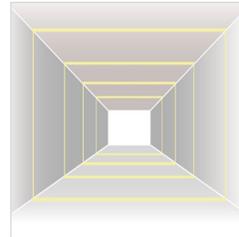
3

空間へいざなう  
シンボル



灯り

未来への玄関口  
移世界に導く門型の光



4

モノを”大切に”する”精神



※1

素材を活かす

素材の良さを活かす  
この場所らしさを大切に



5

相手を思いやる  
柔軟性



運営・演出

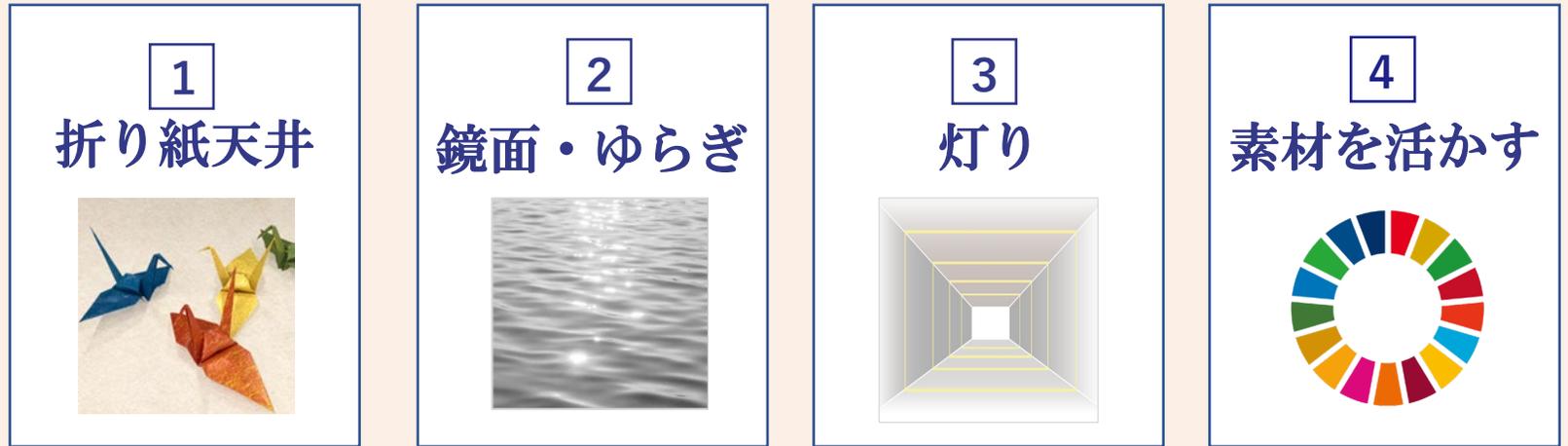
フェーズに合わせた運営  
夢洲と歩み続ける  
来訪者の楽しみとなる



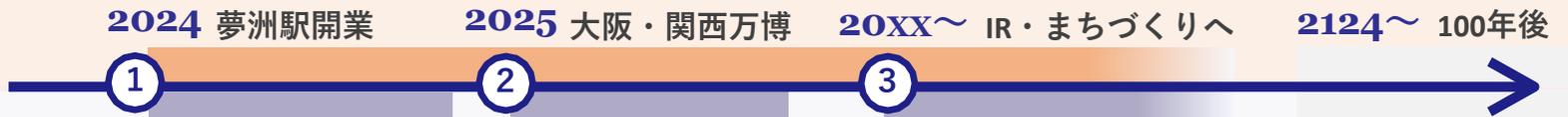
## 2. コンセプトを実現する 空間演出の手法

### 空間デザイン

循環サイクルが長いもの



いつの時代も変わらない普遍的な土台と、100年つづく駅づくり



夢洲とともに歩む柔軟なデザインと、運営に呼応する仕掛けづくり

### 演出デザイン

循環サイクルが短いもの



## (1) 空間デザイン

### コンコース階

お客様ご利用部分の  
通路長：約190m 通路幅：約17m



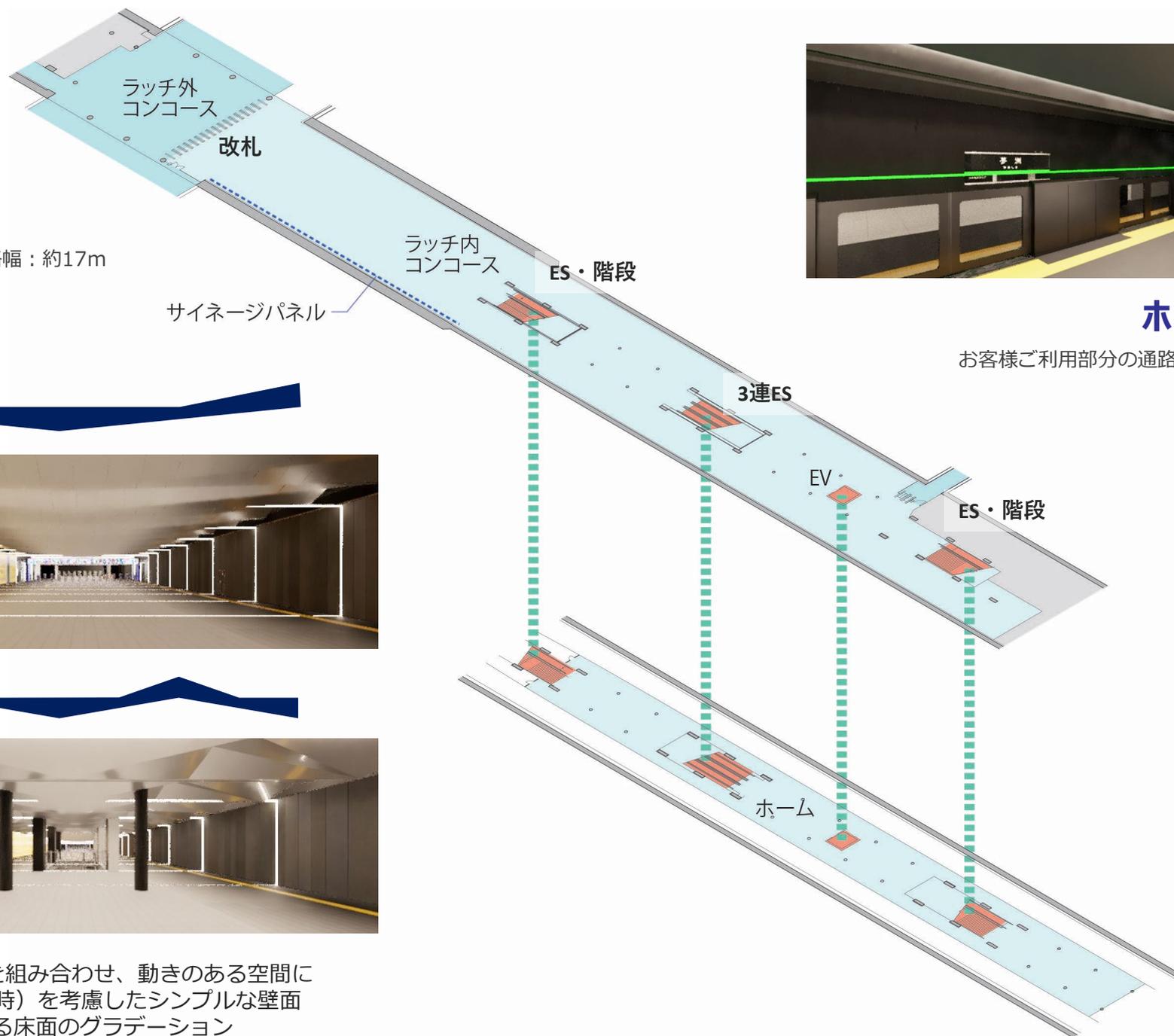
2つの天井形状を組み合わせ、動きのある空間に  
将来の変化（IR時）を考慮したシンプルな壁面  
天井を引き立てる床面のグラデーション

## 3. 空間デザインと演出デザインの方性



### ホーム階

お客様ご利用部分の通路長：約150m



# 1) ホーム階

折紙天井と対比させ  
シンプルで落ち着いた  
ある空間に

人々の動きと大阪の技術を見せる

駅サインを際立たせる

天井：  
アルミパネル

軌道部  
天井・壁：黒色塗装

折り紙天井：金属パネル  
(ホーム中央折り上げ部)

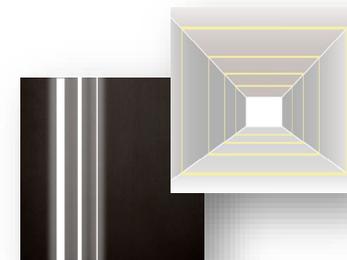
ライン照明



折紙天井を強調  
可動柵：黒色塗装

高耐久で美観を維持  
床：磁器質タイル

移世界へ導く  
門型照明

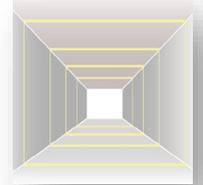


## 2) コンコース階

折紙天井と対比させる  
壁：サイネージパネル

人々の動きと大阪の技術を見せる  
折り紙天井：金属パネル

移世界へ導く  
門型照明



外側にいくほど  
濃くなるグラデーション  
空間に広がりをつくる  
床グラデーション

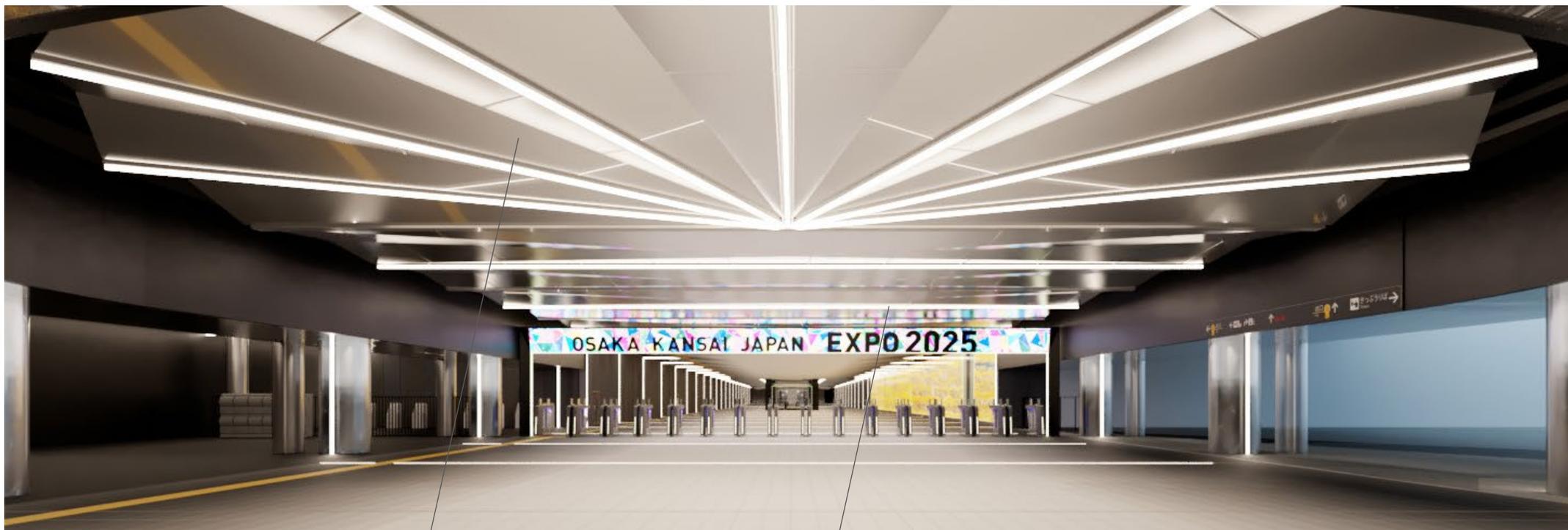
高耐久で美観を維持  
空間の明るさを確保  
床：磁器質タイル

日本の色で彩り、  
折り紙天井を際立たせる

シンプルな壁面

二重壁材のセメント板を  
そのまま意匠材として活用

### 3) ラッチ外コンコース階 改札前円形広場



人々の動きと大阪の技術を見せる  
折り紙天井：金属パネル

可変サイン：折り紙天井は連続させながら  
改札を示すゲートを配置

パースは万博開催時のイメージ

イベント開催時



路線情報



## 4) 大阪らしさ・夢洲らしさを反映した天井・壁デザイン

ベース（シンプル・大阪の技術で創りあげる）

### ◆ 折り紙天井

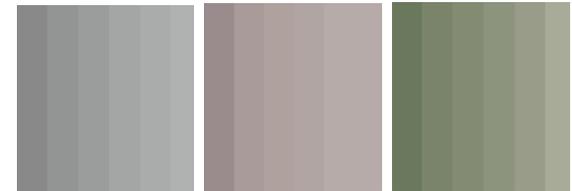
東大阪の金属加工技術等、  
大阪の技術を結集

+

ワンポイント（あじをだす・楽しさ）

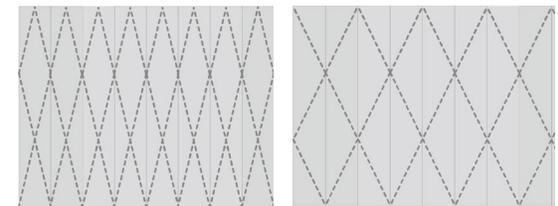
### ◆ 壁面の色彩

- グレーをベースに 車両の色、  
大阪湾の夕陽をイメージした  
色を部分的に入れる



### ◆ モチーフを ワンポイントで

- ひし型ラインのパターン・モチーフ
- 海・波の文様
- 「みおつくし」マーク
- 大阪発・関西発の文様 等々を検討



## 5) トイレ整備の方向性

### 独立型 最先端トイレの整備

男性・女性トイレ・  
車椅子使用者優先トイレ  
(多機能トイレ) と別に、  
独立させて最先端トイレを整備

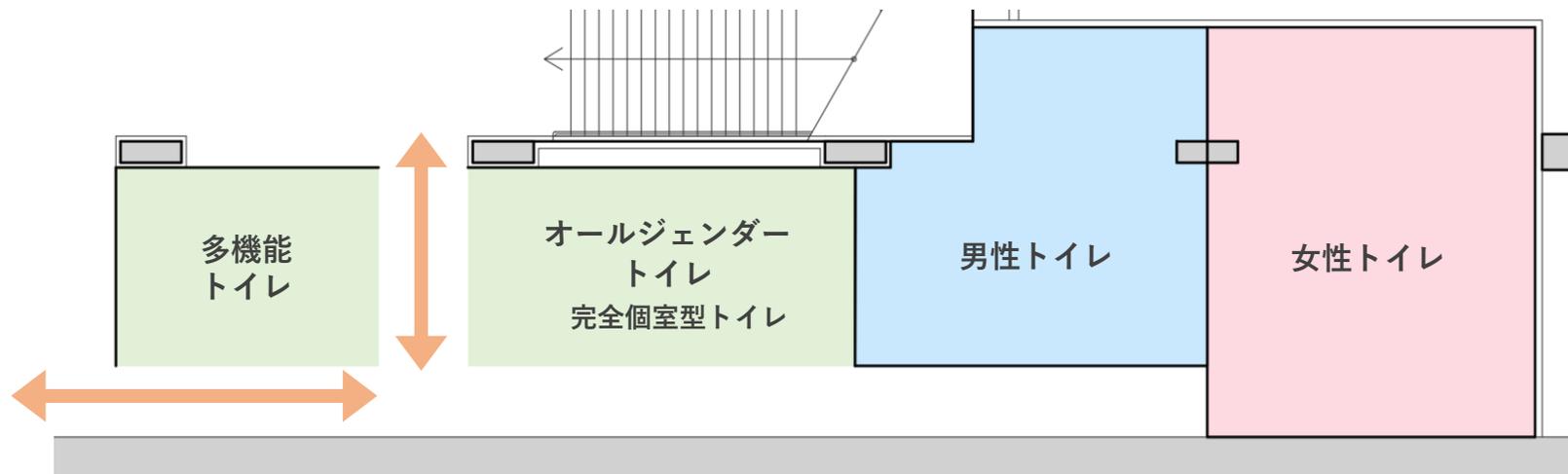
### 多様なニーズに対応

最先端トイレの整備の  
個室に様々な機能を付加

- ・ 着替え
- ・ オストメイト対応
- ・ ベビーチェア
- ・ 子供用トイレ
- ・ パウダールーム

### 誰もが使いやすい 最先端トイレ

サイン計画や動線に配慮  
他の駅に先駆けて  
様々な取り組みを行う



駅デザインコンセプト

# 移 世界劇場

いきる  
- 動く = 移動の魅力を発信する駅 -

動きで魅せる生命の多様性

日本の技術と文化で紡ぐ未来

新しい移動のカタチ 挑戦する夢洲

夢洲とともに歩む柔軟なデザインと、運営に呼応する仕掛けづくり

## ①万博開催前（～2025）

### ◆万博PR

開催までのカウントダウン

### ◆夢洲駅PR

駅デザイン紹介や  
メイキング動画

### ◆VR夢洲駅

仮想空間で駅使用体験・  
魅力を発信

## ②万博開催中（2025）

### ◆万博との連携

万博関連のコンテンツ

### ◆日本・大阪文化発信

四季やまちの歴史など

### ◆VR夢洲駅との連携

リアルタイムで仮想空間と  
駅をつなぐ

## ③万博後

### ◆訪れたい駅を演出

まちのギャラリー

### ◆IRとの連携

IR関連や迎え入れる  
コンテンツによる演出

(参考) 夢洲駅デザイン委員会設置要綱 より 抜粋

(令和3年10月1日設置 令和4年3月終了)

**目的：**夢洲駅デザイン委員会（以下「委員会」という。）は、2025 大阪・関西万博の主要アクセスになるとともに、統合型リゾート（IR）をはじめとする国際観光拠点の形成を目指す夢洲における唯一の鉄道駅である夢洲駅について、内外からの多くの来訪者を迎える玄関口としてふさわしい駅デザインを検討し、そのコンセプト及び主要デザインを決定することを目的とする。

**組織：**委員会は、委員長及び委員若干名をもって構成し、下記に掲げる者をもって充てる。

#### 夢洲駅デザイン委員会委員 名簿

委員長 大阪府立大学 研究推進機構特別教授 橋爪 紳也  
委員 京都市立芸術大学 教授 藤本 英子  
委員 株式会社藤本壮介建築設計事務所 代表取締役 藤本 壮介  
委員 大阪都市計画局長 角田 悟史  
委員 大阪府・大阪市IR推進局 理事 辰巳 康夫  
委員 大阪港湾局長 田中 利光  
委員 大阪市高速電気軌道株式会社 代表取締役社長 河井 英明  
委員 株式会社大阪港トランスポートシステム 代表取締役副社長 美濃出 宏人

主催者：株式会社大阪港トランスポートシステム

(事務局：大阪市高速電気軌道株式会社)

開催経過：令和3（2021）年11月12日 第1回委員会 大阪市高速電気軌道(株)会議室  
令和4（2022）年 2月 2日 第2回委員会 大阪市高速電気軌道(株)会議室  
令和4（2022）年 3月24日 第3回委員会 大阪市高速電気軌道(株)会議室

# 北港テクノポート線 (仮称)夢洲駅 基本デザイン説明

2022年4月

▼ 2ページ

## 1. 夢洲駅 基本コンセプト

### 「移世界劇場 動く(いきる)＝移動の魅力を発信する駅」

コンセプトには、駅で発信していきたい、次の3つの想いを込めています。

- ①動きで魅せるいのちの多様性
- ②日本の技術と文化で紡ぐ未来
- ③新しい移動のカたち 挑戦する夢洲

これまで人やまちを動かしてきた「鉄道」「駅」だからこそ、「いのち」の動きを伝えることができます。人々が多彩なシーンに導かれ、多様性や命の鼓動、日本文化を展開する空間、いきいきと「動く(いきる)」駅をデザインします。

▼ 3ページ

## 2. コンセプトを実現する空間演出の手法

5つの空間演出の手法をもとに、駅のコンセプトである「移動の魅力」を発信していきます。

- ①「折り紙天井」  
日本の鉄道の正確さ、高い技術力を示す、世界に誇る“運行ダイヤ図”を、おもてなしのこころをこめて、日本の伝統的な“折り紙”で表現します。
- ②「鏡面・ゆらぎ」  
鏡面で多様な人々の動きを映し、多様性の美しさを体感できる空間をつくります。
- ③「灯り」  
未来への玄関口をイメージした門型のライン照明を配置し、通り抜けるたびに ワクワク感を演出する照明計画とします。
- ④「素材を活かす」  
100年つづく駅をめざし、耐久性やメンテナンス、リサイクル性に優れた素材、この場所らしさや歴史を大切にしたい素材を用い、「素材の特性を活かす」手法で取り組んでいきます。
- ⑤「運営・演出」  
万博前、万博中、万博後の3つのフェーズに柔軟に対応します。  
継続的に駅やまちの魅力を発信・更新し、訪れたいくなる“まちの顔”となることを目指します。

▼ 4ページ

コンセプトを表現する天井・壁・床は、夢洲駅の土台となる「空間デザイン」です。長い時を経て循環のサイクルが訪れたり、運用で変化が生じたりした際に、無駄なく変更が行える素材や下地で構成します。変化する部分は、フェーズごとの目的やニーズに合った演出デザインとして、空間を柔軟に変えていくことのできる仕組みづくりを行います。

▼ 5ページ

### 3. 空間デザインと演出デザインの方向性

夢洲駅の簡単な構内図を示しています。

地下2階のホームと、地下1階のコンコースは、3か所のエスカレーター・階段と、1つのエレベーターで接続します。ホーム階、コンコース階ともに、空間の広さや機能に合わせて、折り紙天井の形状を効果的に変えながらも、一体感ある空間を創出します。

▼ 6ページ

#### (1)空間デザイン 1) 地下2階 ホーム階

明暗の差で創り出す落ち着きのある空間デザインにより 移世界劇場のはじまりを演出します。

軌道部は黒を基調とし照度を落とすことで、プラットフォーム中央部と折り紙天井が明るく浮かび上がるように演出します。乗降時の安全性等を考慮した照明計画を行います。ホームの床は、防汚加工を施したタイルを用い、メンテナンス性を高めます。

▼ 7ページ

#### 2) 地下1階 コンコース階

##### ◆天井

幅約17m、長さ160mのコンコース空間は、進行方向に折り紙天井の谷が連なる、雄大なデザインとします。折り紙天井のパネルはリサイクル可能なアルミニウムを使用し、メンテナンス性を考慮し、1枚ずつ取り外すことが可能です。

##### ◆壁面サイネージ・照明

壁面に設置したサイネージの多彩な映像が天井の鏡面に映り込むことで、空間の印象を変化させます。照明の色温度の変化やサイネージの演出により、地下でありながら 移り変わる時間の流れを感じることができる豊かな空間を創出します。

##### ◆床

床は、天井に映りこむ中央部を白く明るくし、壁際にいくほど濃い色となるグラデーションを施し、日本の風景や四季にも通じる濃淡表現で空間に広がり創出します。

▼ 8ページ

#### 3) 改札前広場

##### ◆天井

改札前広場は、折り紙の端を半円状につなぎ、おおらかな空間の広がり、夢洲への到着・出発ゲートとして人々を送り出し、迎え入れるイメージをデザインします。

##### ◆サイン

コンコース階の改札ゲートには、海外から訪れた人にも配慮した案内やサインを設置します。

▼ 9ページ

## 4) 大阪らしさ・夢洲らしさを反映した天井・壁デザイン

### ◆天井

折り紙天井のユニットは、東大阪の金属加工技術を用いるなど、ベースはシンプルにしながら、仕上げ・素材に大阪の技術を結集します。

### ◆壁デザイン

壁面には、お客様に楽しんでいただけるポイントとして、大阪にまつわるモチーフや色彩等の採用を検討します。

▼ 10ページ

## 5) トイレ整備の方向性

他の駅に先駆け、男性トイレ・女性トイレ・車椅子利用者優先トイレと別に、独立したオールジェンダートイレエリアを整備するなど、最新の取り組みを行います。トイレの個室ごとに、様々な機能を設けることで、お客様の多様なニーズに対応し、バリアなく自由に選んでいただけるトイレを目指します。サイン計画や動線にも配慮します。

▼ 11ページ

## (2) 演出デザイン(変わる部分)

駅のコンセプトである「移世界劇場」を核とし、「夢洲とともに歩む柔軟なデザインと、運営に呼応する仕掛けづくり」をテーマに多彩な演出を行います。

開業後の3つのフェーズごとの、現段階での演出デザインは以下の通りです。

### ①フェーズ1: 万博前

万博関連コンテンツ、カウントダウン映像などで万博への期待を高めると同時に、駅のデザインや建設過程を紹介する動画などのサイネージ演出により、夢洲駅への関心を高めていきます。

### ②フェーズ2: 万博開催中

スムーズにお客様を万博へと誘導しながら、サイネージや照明、音響による演出で万博を盛り上げます。万博会場でのイベントなどとリンクした映像演出のほか、日本の四季や、大阪の文化・歴史などをテーマとしたデジタルアート、バーチャル夢洲駅と組み合わせたインタラクティブなコンテンツ等の展開を検討します。

### ③フェーズ3: 万博後

夢洲のまちづくりと連動し、「まちのギャラリー」としてサイネージの活用を検討します。演出デザインは各フェーズの目的に合わせ、万博やその後に向けて(IRとの連携も含め)引き続き具体的な検討を行っていく予定です。

▼ 12ページ

## 参考: 夢洲駅デザイン委員会 名簿・開催経過